

連載

もつと



知りたい 地域医療

第三十五回

町立下川病院

副院長

丸山直紀



皆さんお元気ですか。前回父の心筋梗塞のお話をしたところ大好評で、多数の方々からお褒めのお言葉を頂きました。その後は悪玉コレステロールの値は良いものの日課の長い散歩は止めません。何でもほどほどと忠告していますが、頑固親父は困ります。皆さんは周囲の良い意見には是非耳を傾けて、素直に実行してくださいね。



さて新年度も始まりました。皆さんにも今までに様々な出会いとお別れがあったことと思われまます。今回は私のお話をいたしません。私は旭川医大出身でラグビー部に所属しております。当時部員は二十五人位いて全員が非常に仲良かったです。毎日きつい練習に

耐えながら医学生大会での優勝を目指す一方、花見をしたり海水浴に行ったり、飲み会も沢山あって楽しかったです。ちなみに飲み会では宴会芸が付きもので私は後々まで語り継がれることとなった伝説の芸を多数披露しております。



医科大学は六年制で私の三期下、背が高く美男子なある先輩が入部してくれました。たしか私の懸命な勧誘がきっかけであったように記憶しております。非常に素直で温和、人懐っこい性格で私のことを丸山さんと言って慕ってくれて、いつも一緒に筋肉トレーニングをしたものです。部員の中でも特に仲良かったです。私は五年生の時に副主将だったのですが、彼は将来の主将候補でした。

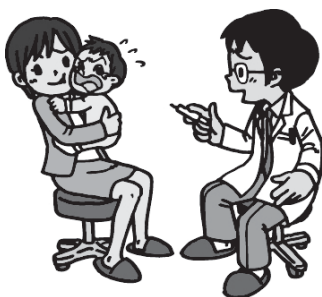


しかし私が六年生の時でした。交通事故で突然早世されてしまったのです。その時の彼を失った部員の深い悲しみは言葉では言い表すことができません。部員皆が、志半ばで旅立ってしまった彼の分まで必ず良いお医者さんになろうね、と誓い合いました。そして時間が過ぎ卒業一年目から私は旭川医大で勤務することになりましたが、医師という仕事は当たり前ながら学生の時の想像を超えた、とても大変なものでした。それ

は今年で卒業二十四年目となった今でも変わりありません。でも私の心の中では元気で陽気な彼がずっと生き続けていて、今までも辛い時や悲しい時には『僕の分まで頑張ってくださいよ、丸山さん』と明るく笑って励ましてくれました。きっとこれからもずっと励まし続けてくれるのでしょう。



彼と約束したいいいお医者さんには未だ遠く、彼や皆様にも申し訳なく思い反省しています。今後少しずつでも近づけるように努力いたします。そして皆さんの健康維持のお役に立てることができれば嬉しい限りです。



■お問い合わせ

町立下川病院

☎・☆4-2039

